



嵯峨の福祉

第133号

嵯峨自治会連合会
嵯峨社会福祉協議会

京都市立嵯峨小学校創立150周年記念式典開催

令和 4 年11月18日金曜日、秋晴れのもと、嵯峨小学校体育館で、京都市立嵯峨小学校創立150周年記念式典が、京都市長 門川大作氏、京都市教育長 稲田新吾氏をはじめ、多くのご来賓を迎え厳粛に開催されました。国歌、京都市歌、校歌が京都嵯峨学園の一員である嵯峨中学校吹奏楽部の演奏で始まりました。京都市歌では、代表して参列している 6 年生が手話で歌を披露しました。門川市長も来賓祝辞の中で、『手話唱』を大変感激されておられました。村上泰章実行委員長や坂口博翁実行副委員長の挨拶でも、6 年生がしっかり背筋を伸ばして聞く姿勢がよかったと褒めておられました。

記念講演では嵯峨小学校卒業で健光園の元理事長である小國英夫氏に『終戦前後の小学校と児童の暮らし』というテーマで、戦後間もなくの嵯峨小学校を含む生活の様子や苦労してきたことなどをお話ししていただきました。最後に、「これからの世の中はますます多文化共生の時代になるので、けんかをするのではなく、お互いに仲良く協力して生きていかなければいけない」と、まとめていただきました。



展示～ 150年の『嵯峨小学校』の歩みを一挙紹介

嵯峨小学校は天龍寺の塔頭、招慶院の跡地に建っていますが、15世紀に作成された「応永鈞命図」という嵯峨の古地図まで遡ると、霊松庵がその前身になり何と500年以上の歴史を有することになります。この古地図のコピーは、来館者にも配布されました。

展示の見どころは、先ず明治元年に新政府の太政官と京都府が連名で町の辻に立てた3か条のお触れ書きです。現存する4本のうちの1本です。嵯峨小学校の建物の変遷、昭和初期の卒業アルバムの写真など、鮮明な画像で当時を偲ぶことができます。児童が学んでいた教科書、教本もたくさん置かれていました。また嵯峨小学校が有する絵画、嵯峨面などの芸術品も説明付きで展示されていました。

本展示を企画推進された、江端 憲一さんによれば「単に展示品を並べたのではなく150年の歩みと歴史そのものを紹介したかった」とのことです。わずか2日間でしたが、学区民のためにこのような機会が提供されたことは大きな成果と感じました。

この貴重な財産を管理・保管することは極めて大事ですが、その老朽化は避けられず、一方でデジタル保存等を推進することが喫緊の課題です。



記念植樹は『八重桜』

150周年の記念植樹は、地元の造園業・植木屋さんの多くの有志の方々のご厚志により実現したものです。昨今の温暖化の影響から桜の開花は年々早くなり、入学式のころにはすでに散ってしまうような年もあります。そこで今回の記念植樹は、ソメイヨシノより遅咲きの八重桜とし、中庭の池のほとりに植えました。現在は4メートルくらいですが、10年後には児童の成長と同じく大樹になっていることでしょう。

なお、碑文は覚勝院住職の坂口 博翁さんのご厚意によるもので感謝いたします。

～今回は京都市立嵯峨小学校の創立150周年特集としました。また前回と同様、右記のQRコードからカラー誌面と動画をご覧いただけます。



題字左のカット画像は、吉川祥子さんにお願いしております。

150年間に散在している写真・史料をデジタル化で永久保存へ！

今般の嵯峨小学校創立150周年に際し、これまで嵯峨小学校を中心に保存されてきた史料・絵画・文献などを一括してスキャンし、データ保存するという大プロジェクトに取り組まれた野宮神社宮司の懸野 直樹さんにデジタル化にかける思いと活用、今後の抱負などについて伺いました。

まずその数ですが、リストにして480件ほど、画像にして760点余りと相当な規模です。中には江戸時代末期の寺子屋で使われた『女小学』（日常の家事などの教本）や、長沢芦州（長沢芦雪の弟子）の屏風なども見つかりました。修復すればかなりの価値があるのではないのでしょうか。スキャン作業は全史料の写真を撮ることから始めました。この作業に4人でのべ4日間を要しました。今やっておかねば貴重な写真・史料の類も老朽化あるいは散逸し、2度と目の目を見ない恐れがあります。事実、嵯峨小学校初代校長の写真が30年前にはあったのに現在は見当たりません。とにかく1回やっておきたい、やらねばならぬ、そんな思いで始めたものです。

全データがそろったら不明な史料の解明を行ない、その精度を上げていきます。また、解説も加え検索等もできるようにしていきます。デジタルの強みはこれができることです。今後の管理運営には費用もかかりますので、対応を考えていかねばなりません。



150周年に向けて ～嵯峨小学校児童の取組～

創立150周年記念式典に向けて、児童は大好きな学校・地域を意識して学習に取り組んできました。そして、式典当日に地域の皆様に、子どもたちの思いを届けようと記念品や展示といった形で発表の場をいただきました。

6年生は図画工作科で「わたしの大切な場所」を題材に校内の好きな場所・思い出の場所・お気に入りの場所等を絵に表しました。5年生は「すてきな明かり」の題材に取り組み行灯を作りました。4年生は「子ども嵯峨面」を作り、その歴史や文化についても学びました。これらの作品には、子どもたちの学校や地域への思いが込められています。150周年の記念として地域の皆様に見ていただけることを、子どもたちも教職員も喜んでおります。

また、全校児童の取組としては、子どもたちの大好きな歌「学校へ行く道」を式典で披露しました。嵯峨の素晴らしい地域の様子や楽しい学校生活を皆様にも感じていただけたと思います。



5・6年生の作品は「絵葉書」として記念品に。

高齢者への敬老記念品配布

例年行われている「嵯峨校児童と高齢者の敬老交流会」に代えて、コロナ禍の今年は、80歳以上の学区高齢者の方々に記念品をお渡しすることとしました。

記念品には嵯峨小学校の3年生と6年生からの手書きのお手紙が添えられ、各自治会を通じてお手元に届けられました。

児童のお手紙は、日々頑張っている運動会の練習や勉強のことに加え、高齢者の健康に気遣うなど心温まるものでした。受け取られた方々も大変喜んでおられました。



～1ページ目に記載のQRコードから児童のお祝いメッセージをお聞き頂けます～

わが町内 紹介

新企画「わが町内紹介」8回目は、長辻、西井頭、角倉です。

1回に3町内ずつ、自治会長に目印、世帯数、わが町内のPR等、書いて頂いています。記事を読まれて新たな発見もあらうかと思います。皆さまも1度下記の町内を巡られてみては如何でしょうか。なお、順番は「くじ引き」により決定しております。

古代より続く町 ～長辻～

自治会長 中川新八郎



長辻町は大井神社を中心に栄えた町です。

古く古代に於いては、秦氏を中心に殖産に励んできました。嵯峨・法輪寺のあたりに運河を通し、大陸中国より伝わった清流を取り込む技術をもって下流の発展に尽くしたと思われます。5, 6世紀頃、嵯峨野には多くの古墳が造られました。その川沿いの中心的な場所が長辻町のあたりだと思われます。

運河の開発は、鉄の技術を持ち込みました。その技術集団は、後の長岡京、平安京の造営に力添えしました。中世には天龍寺が創建され、僧侶、在家、沢

山の人々が住んでいた渡月橋のあたりは江戸時代、河川物流の集積地として京都に潤いを与えてきました。

戦後は、春は桜、秋はもみじと観光客が絶えることはありません。

今後は世代交代をうまく行い、地元の方々の今までどおりの力添えを期待するところです。



風光明媚な地 ～西井頭～

自治会長 森下 洵子



西井頭町の範囲ですが、南は丸太町通、清滝街道の西側を北へ一条通上ルを東への地域一帯です。世帯数(自治会加入)は86件。西には清涼寺、北は大覚寺、そして畑の西北には愛宕山。その麓には五山送り火の曼荼羅山、風光明媚が感じられます。

又、旧四区 小淵・井頭・西井頭の三町内で嵯峨祭「菊鉦」を所有。5月の嵯峨祭にむかい会議所にて小学生から大人まで鉦の練習があります。

町内の一条通を上がったところに、余り知られていないようですが『今林陵(後宇多天皇皇后 姪子内親王)』があります。御陵の前は桜並木でした。100年以上前に植えられたと聞きましたが1本、2本と伐採され、昨年には何らかの理由で全部伐採されてしまい、毎年春になると町内で唯一見られていた桜がなくなり寂しいです。でも、山あり畑あり50数年前とあまり変わらない風光明媚な西井頭町が私は大好きです。



稲荷神社と地藏堂がある ～角倉～

自治会長 細川 恒治



角倉町は嵯峨学区の南東に位置しています。南には桂川、西には瀬戸川が流れています。世帯は150軒ほどで、近年、昔からの家や古くなって新しく建て替えられたり、また、町内の東のほうでは、マンションが建ったりして、徐々に町並みも変わってまいりました。住民も年齢が80歳以上の方が、約50人おられます。高齢化とともに一人で住んでおられる家庭もふえ、お互いに干渉はよくないですが、昔からの助け合い、声をかけあいながら暮らしていく暖かい街づくりが大事であると思っています。町内には、稲荷神社があり、2月には初午祭という行事を行います。また、地藏堂が町内の真ん中に位置し、夏のお盆過ぎに地藏盆を行っています。今はコロナ禍の中でなかなか行事をおこなうことはできませんが、伝統を受け継ぎ、行事をおこないながら、集うことで、お互いに会話も弾み、地域力がはぐくまれるのではないかと考えております。



この広報誌は皆様のご好意、ご協力をえた社会福祉賛助会費および共同募金の財源を活用し発行しています。



幸せホルモンを増やそう

◎人に幸せを実感させたり、健康で過ごせるよう作用する体内物質が、幸せホルモンとよばれています。その中の一つが「セロトニン」という物質です。「セロトニン」には、不安やストレスをやわらげる力があるとされています。また、興奮作用のあるノルアドレナリンや快感をもたらすドーパミンが勝手に暴走しないようにコントロールする力もあります。人々が平常心でいられるように心を落ち着かせる役割を担うといわれています。



体内のセロトニンを増やすには

◎「セロトニン」のもととなるのは、「トリプトファン」という必須アミノ酸の1つで、人の体内で生成はできません。トリプトファンは、食品のたんぱく質に含まれています。腸内環境にも優しい植物由来のもの、乳製品、発酵食品を選ぶ必要があります。牛乳、ヨーグルト、みそ、豆腐、卵、バナナなどがいいです。

◎おなかの調子が悪いと腸の中の多くの「セロトニン」を使ってしまう。腸内環境を整えておくことが大事です。腸内環境を整えるには、善玉菌のエサになる食物繊維を多くとります。特にすすめたいのは、腸で発酵しやすく、腸内細菌が利用しやすい発酵性食物繊維。玄米、麦、豆類、根菜、海藻などです。

規則正しい生活をするのが大事

◎スマートフォンやパソコンを夜遅くまで見ず、しっかり睡眠をとります。毎日きちんと朝、起きて太陽の光を浴びる、ゆとりをもって朝食をとる。適度に運動をする。「セロトニン」は、体内にためておくことはできません。毎日の食事や運動、生活リズムを整えることで、生成し続けます。

嵯峨小児童の作品から



3年 佐藤 優陽
『ねずみとチーズとおきもの』



4年 河田 和乎
『インコのようなふしぎな花』

12月～3月行事予定表

嵯峨社会福祉協議会事業ほか

月	日	曜	行 事 内 容 な ど	備 考
12	1～31		令和4年度 右京区社会福祉協議会 賛助会員募集	
	10	土	たくろう会	嵯峨小 10:00～(午前中)
令和5年 1			たくろう会 「新年親睦会」は中止です	
			小学校1年生の「ふゆあそびをたのしもう」学習のお手伝い	嵯峨小
2	11	土	たくろう会	嵯峨小 10:00～(午前中)
	25	土	たくろう会	嵯峨小 10:00～(午前中)
3	2	木	広報誌「嵯峨の福祉」第134号発行	
	11	土	たくろう会	嵯峨小 10:00～(午前中)
	11	土	第29回「講演のつどい」開催	ホテルビナリオ嵯峨嵐山 (19:00～予定)

◎すこやかカフェしゃか 毎月第3火曜日10時～12時、場所 西井頭町会議所
12/20 (併せて交通安全教室を行います。)、1/17、2/21、3/21

◎カフェくるまみち 毎月第1火曜日10時～12時、場所 JR 嵯峨嵐山駅下ル 京都新聞販売所北
12/6、2/7、3/7

【注】以上の予定は諸事情により変更となる場合があります。